

Label Creator

Label Creator について

Label Creator は、CD や DVD のラベル、ジャケット、スリーブ、ケース カバーを作成するためのツールです。また、Label Creator は、CD や DVD のコンテンツに関する情報をバインダー ページに記録したり整理したりする場合にも便利です。ディスクへの書き込みを行っている間に、ラベル、ジャケット、カバー、およびバインダー ページを作成できます。

Label Creator では、ディスクに直接印刷できる特殊プリンターやディスクにラベルを書き込める LightScribe® レコーダーも使用できます。

[ページのトップへ](#)

メモ:お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

Label Creator

Label Creator について

Label Creator は、CD や DVD のラベル、ジャケット、スリーブ、ケース カバーを作成するためのツールです。また、Label Creator は、CD や DVD のコンテンツに関する情報をバインダー ページに記録したり整理したりする場合にも便利です。ディスクへの書き込みを行っている間に、ラベル、ジャケット、カバー、およびバインダー ページを作成できます。

Label Creator では、ディスクに直接印刷できる特殊プリンターやディスクにラベルを書き込める LightScribe® レコーダーも使用できます。

[ページのトップへ](#)

メモ:お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

ディスク ラベルとケース ジャケットの作成の概要

ラベル、ジャケット、スリーブ、バインダー ページ、およびカバーをひとまとめにしたものは、プロジェクトと呼ばれます。プロジェクトは、以下のようにして簡単に作成できます。

- 1 **新しい Label Creator プロジェクトを作成する。**作成するラベルまたはジャケットの種類(レイアウト)を選択し、プロジェクトの種類(オーディオ、データ、またはビデオ)を選択します。詳細については、[新しい Label Creator プロジェクトを開始する](#) を参照してください。
- 2 **ディスクに関する情報をプロジェクトに追加します。**追加する情報は、ラベルを作成するディスクの種類によって異なります。たとえば、オーディオ CD または DVD の場合は、オーディオトラック名、アーティスト名、タイトル名などの情報を含められます。
詳細については、[スマート オブジェクトに自動記入する](#)を参照してください。
- 3 **プロジェクトにスタイルを適用します。**プロがデザインしたスタイルの中から選択するか、独自のスタイルを作成します。詳細については、[スタイルを適用する](#)を参照してください。
- 4 **プロジェクトを印刷します。**テスト ページを印刷し、ラベル、カバー、およびジャケットが用紙に正しく印刷されることを確認してからプロジェクトを印刷します。詳細については、[Label Creator プロジェクトの印刷の概要](#) を参照してください。

以下も参照してください:

- [Label Creator ウィンドウについて](#)
- [Express Labeler を使用する](#)

[ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

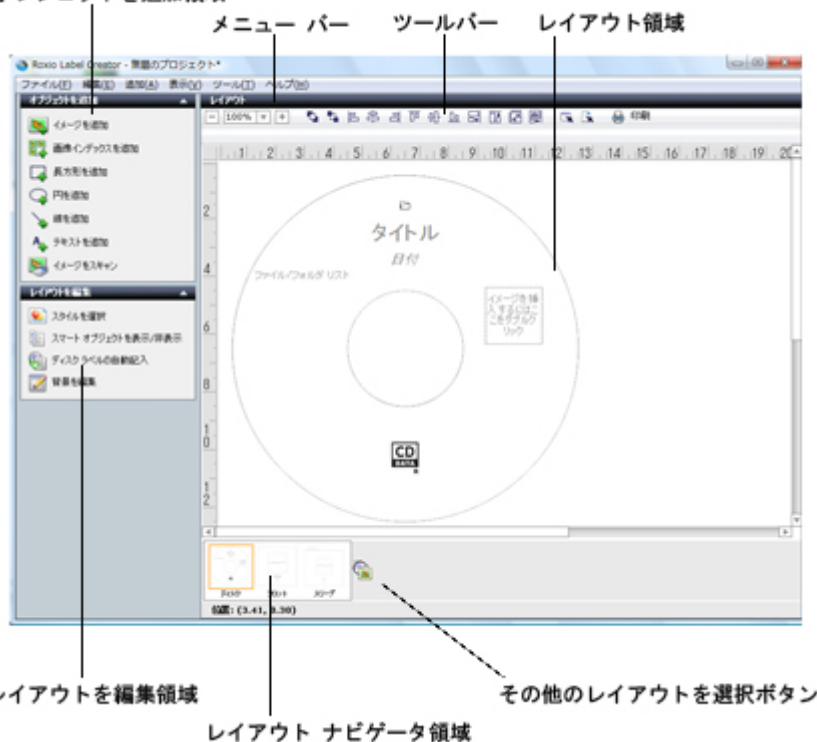
© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

Label Creator

Label Creator ウィンドウについて

以下のセクションでは、Label Creator ウィンドウの主要な部分について説明します。

オブジェクトを追加領域



オブジェクトを追加領域

オブジェクトを追加領域では、長方形、円、線などの形状、イメージ、テキスト、または画像インデックスをプロジェクトに追加できます。

レイアウトを編集領域

レイアウトを編集領域では、レイアウトの外観を変更できます。この領域で、プロジェクトのスタイルを選択したり、スマート オブジェクトの表示と非表示を切り替えたり、プロジェクトの背景を変更したりできます。

レイアウト領域

レイアウトとは、ラベル、ジャケット、ブックレット、またはカバーのデザインのことです。レイアウト領域では、プロジェクトのコンテンツと外観に関する作業を行います。

詳細については、[レイアウトを選択する](#)を参照してください。

ツールバー

ツールバーには、レイアウト上のオブジェクトを操作するツールがあります。一番上の行にあるズーム、印刷、位置調整などのボタンは常に使用できます。

一番下の行に表示されるボタンは、レイアウト領域で選択されているオブジェクトの種類によって異なります。たとえば、テキスト オブジェクトを選択している場合は、フォントやフォントの色などを設定できるテキスト オブジェクト プロパティのツールになります。

レイアウト ナビゲーター

レイアウト ナビゲーターには、現在のオブジェクトに対するレイアウトのサムネイルが表示されます。レイアウト領域ではレイアウトを 1 つずつしか作業できませんが、その他のレイアウトのサムネイルがレイアウト ナビゲーターに表示されます。別のレイアウトで作業するには、レイアウト ナビゲーターで目的のサムネイルをクリックします。

レイアウトのそばにある**その他のレイアウト**を選択ボタンをクリックすると、プロジェクトにレイアウトを追加できます。

以下も参照してください:

- [ディスクラベルとケース ジャケットの作成の概要](#)
- [Label Creator ウィンドウについて](#)
- [Express Labeler を使用する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

Label Creator

Express Labeler を使用する

Express Labeler では、ディスクへの書き込みを行っている間に、ラベル、ジャケット、およびブックレットを作成できます。Express Labeler を使用すると、プロジェクトのレイアウトやスタイル、ディスクに表示されるディスクタイトルやアーティスト名などの情報を簡単に選択できます。

Express Labeler は、ラベルを作成および印刷する一番速い方法です。

Express Labeler を使用するには:

- 1 Label Creator で、**ツール > Express Labeler** を選択します。
- 2 作成するレイアウトを選択します。たとえば、ディスク ケースのディスク ラベル、フロント カバー、およびバック カバーを作成するには、**ディスク、表**および**裏**レイアウトを選択します。
選択したレイアウトは、Express Labeler のレイアウト ナビゲーター領域の下部に表示されます。
- 3 **次へ**をクリックします。
- 4 プロジェクトの種類、スタイル、およびラベルとジャケットのコンテンツを選択します。
 - a ドロップダウン リストから、以下のいずれかのプロジェクトの種類を選択します。
 - ◆ **オーディオ プロジェクト**
 - ◆ **データ プロジェクト**
 - ◆ **ビデオ プロジェクト**
 - b **スタイルを選択**をクリックします。
スタイルを選択ダイアログ ボックスが表示されます。
 - c プロジェクトに適用するスタイルを選択し、**OK** をクリックします。

注意: スタイル オブジェクトを使用領域では、スタイル イメージ(背景)、オブジェクト レイアウト(配置)、フォント設定をそれぞれ適用するかどうかを選択できます。
プロジェクトにスタイルが適用されます。
 - d **コンテンツを編集**をクリックします。
スマート オブジェクト エディターが表示されます。
 - e ラベルまたはジャケットに含めるスマート オブジェクトを選択します。
現在、レコーダーに入っているディスクからスマート オブジェクト情報をインポートするには、**ディスク ラベルの自動記入**を選択します。
 - f **OK** をクリックします。
プロジェクトが更新され、選択したコンテンツが反映されます。
- 5 プロジェクトの種類、スタイル、およびコンテンツを選択したら、**次へ**をクリックします。
- 6 次のいずれかのオプションを選択します。
 - **印刷:**プロジェクトを保存しないまま、またはプロジェクトを保存する前に、ラベルおよびジャケットを印刷します。
 - **保存:**ラベルおよびジャケットを Label Creator プロジェクトとして保存し、後で作業を再開したり印刷したりできるようにします。
 - **Label Creator で編集:**Label Creator を開いて、このプロジェクトの作業を続けます。

以下も参照してください:

- [ディスク ラベルとケース ジャケットの作成の概要](#)
- [新しい Label Creator プロジェクトを開始する](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。



© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

Label Creator のオプションを設定する

Label Creator のオプションを設定するには:

- 1 ツール > オプション を選択します。
オプション ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2 以下のオプションを設定します。
 - **オンライン音楽サービス:** Label Creator がインターネット上のオンライン音楽サービスにアクセスする方法を設定できます。このアクセスを通じて、アルバム タイトル、アーティスト名、トラック名などが既存のオーディオ ディスクに自動的に追加されます。
 - **単位:** レイアウト プロジェクト設定にインチとセンチのどちらの単位を使用するかを指定します。
 - **印刷状態で表示の透明度:** 印刷状態で表示ビューで印刷領域以外の部分に適用する透明度のレベルを設定します。50(半透明) ~ 100(印刷領域以外の部分は表示されない)の間の数値を入力します。

以下も参照してください:

- [スマート オブジェクトに自動記入する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

Label Creator のオプションを設定する

Label Creator のオプションを設定するには:

- 1 ツール > オプション を選択します。
オプション ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2 以下のオプションを設定します。
 - **オンライン音楽サービス:** Label Creator がインターネット上のオンライン音楽サービスにアクセスする方法を設定できます。このアクセスを通じて、アルバム タイトル、アーティスト名、トラック名などが既存のオーディオ ディスクに自動的に追加されます。
 - **単位:** レイアウト プロジェクト設定にインチとセンチのどちらの単位を使用するかを指定します。
 - **印刷状態で表示の透明度:** 印刷状態で表示ビューで印刷領域以外の部分に適用する透明度のレベルを設定します。50(半透明) ~ 100(印刷領域以外の部分は表示されない)の間の数値を入力します。

以下も参照してください:

- [スマート オブジェクトに自動記入する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

新しい Label Creator プロジェクトを開始する

Label Creator プロジェクトには、ディスク、ディスク ケース、または DVD ケースで使用するすべてのレイアウトが含まれます。新しいプロジェクトを開始したら、まずプロジェクトの種類(オーディオ、データ、ビデオ)を選択します。次に、プロジェクトに含めるレイアウトを追加します。

新しい Label Creator プロジェクトを開始するには:

- 1 **ファイル** > **新規プロジェクト**を選択します。

新しいプロジェクトを開始ダイアログ ボックスが表示されます。

注意: 保存されていないプロジェクトを保存するかどうかを尋ねるメッセージが表示されません。

前のプロジェクトがクリアされ、新しいプロジェクトが作成されます。

- 2 ドロップダウン リストからプロジェクトの種類(**オーディオ プロジェクト**、**データ プロジェクト**、または**ビデオ プロジェクト**)を選択します。

プロジェクトの種類は後でスマート オブジェクトダイアログ ボックスで変更することもできます。詳細については、[スマート オブジェクトを選択する](#)を参照してください。

- 3 作成するレイアウトを選択します。詳細については、[レイアウトを選択する](#)を参照してください。

後でその他のレイアウトを追加するには、レイアウト ナビゲーターで**その他のレイアウトを選択**矢印ボタンをクリックします。

- 4 **OK** をクリックし、プロジェクトをカスタマイズする以下のセクションへ進みます。

- [レイアウトを選択する](#)
- [スタイルを適用する](#)
- [カスタム スタイルを作成する](#)
- [スマート オブジェクトを選択する](#)
- [スマート オブジェクトに自動記入する](#)

[🏠 ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

レイアウトを選択する

レイアウトとは、ラベルまたはジャケットをデザインするための基本的な枠組みのことです。レイアウトにはデフォルトの要素の集合(オブジェクト、オブジェクトの配置、フォントの詳細)があります。デフォルトのレイアウトはそのまま使用できます。また、オブジェクトを追加または削除したり、オブジェクトの位置、コンテンツ、およびフォントの詳細を調整したり、背景イメージを追加したりしてカスタマイズすることもできます。

以下の種類のラベルおよびジャケットのレイアウトがあります。

- ディスク(CD / DVD)
- DVD ブックレット
- 表
- スリム ケース ジャケット
- 裏
- コア ラベル
- ブックレット
- ディスク スリーブ
- 8 cm ディスク
- ディスク スリーブ (両面)
- DVD ケース
- バインダー ページ

レイアウトの外観はスタイルを適用して変更します。スタイルとは、あらかじめ設定されたオブジェクト、オブジェクトの配置、フォントの詳細、および背景の集合のことです。Label Creator にはプロがデザインしたスタイルのライブラリが用意されており、その中から選択できます。詳細については、[スタイルを適用する](#)を参照してください。

カスタマイズしたレイアウトをスタイルとして保存すると、他の Label Creator プロジェクトでも使用できます。詳細については、[カスタム スタイルを作成する](#)を参照してください。

ディスク スリーブについて

ディスク スリーブとは、折り目のある印刷可能なタブ付きのページです。通常、スリーブはプロジェクトの保管、色分け、および整理のために使用します。

Label Creator には片面および両面スリーブのテンプレートがあります。

バインダー ページについて

バインダー ページとは、バインダーに収まる 8.5 x 10 インチのページであり、レター サイズと A4 用紙の両方で使用できるようにデザインされています。画像インデックスで整理されたサムネイルを含むバインダー ページは、フォトの理想的な記録方法です。

以下も参照してください：

- [新しい Label Creator プロジェクトを開始する](#)
- [スタイルを適用する](#)
- [カスタム スタイルを作成する](#)
- [スマート オブジェクトを選択する](#)
- [オブジェクトを操作する](#)
- [テキストとグラフィックを操作する](#)

[ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

スタイルを適用する

レイアウトの既定の背景、フォント、およびオブジェクトの配置は、**スタイル**と呼ばれます。Label Creator にはプロがデザインした各種のスタイルが用意されており、その中から選択できます。スタイルを選択して、プロジェクト内の 1 つまたは複数のレイアウトに適用したり、特定のスタイル オブジェクトだけに適用したりできます。

注意: プロジェクトの種類を変更すると(ビデオからデータなど)、スタイルの背景とフォントは維持されますが、オブジェクトは変更先のプロジェクトの既定オブジェクトに変更されます。

プロジェクトにスタイルを適用するには:

- 1 レイアウトを編集領域で、**スタイルを選択**をクリックします。
スタイルを選択ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2 左側でスタイルのカテゴリを選択します。
選択したカテゴリのスタイルがプレビュー領域に表示されます。カテゴリ内のすべてのスタイルを表示するには、スクロール バーを使用します。
- 3 プレビュー領域で、いずれかのスタイルをクリックします。
- 4 スタイル オブジェクトを使用領域で、スタイルの以下の要素を適用するかどうかを選択します。
 - **背景:** イメージまたは色。
 - **配置:** オブジェクトの配置。
 - **文字体裁:** フォント、外観、および効果。
- 5 スタイルをプロジェクト内のすべてのレイアウトに適用するには、**すべてのレイアウトに適用**を選択します。このオプションを選択しない場合、スタイルは現在のレイアウトにのみ適用されます。
- 6 **OK** をクリックします。

以下も参照してください:

- [カスタム スタイルを作成する](#)
- [レイアウトを選択する](#)
- [スマート オブジェクトを選択する](#)
- [オブジェクトを操作する](#)
- [テキストとグラフィックを操作する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

カスタム スタイルを作成する

変更したレイアウトやスタイルを他の Label Creator プロジェクトでも使用できるようにするには、オブジェクトの配置、フォント、および背景を新しいスタイルとして保存します。

注意: スマート オブジェクトの内容はカスタム スタイルには保存されません。

カスタム スタイルを保存するには:

- 1 **ファイル > スタイルとして保存**をクリックします。
- 2 別のプロジェクトでこのスタイルを使用するには、レイアウトを編集領域で**スタイルを選択**をクリックします。保存したスタイルがカスタム カテゴリに表示されます。

以下も参照してください:

- [レイアウトを選択する](#)
- [スタイルを適用する](#)
- [スマート オブジェクトを選択する](#)
- [スマート オブジェクトに自動記入する](#)

[🏠 ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

Label Creator

スマート オブジェクトを選択する

デフォルトでは、新しいプロジェクトを作成したときに、特定のオブジェクトがすでにレイアウトに含まれています。これは**スマート オブジェクト**と呼ばれるもので、ユーザーの CD や DVD から抽出した情報、あるいはオンラインで取得した情報が格納されます。これらの情報は、Label Creator によって、プロジェクト内にあるすべてのレイアウトのスマート オブジェクトに自動的に入力されます。たとえば、ディスクレイアウトのタイトル スマート オブジェクトに情報を入力すると、同じプロジェクト内にある他のすべてのレイアウト(フロントやバックなど)にそのタイトルが自動的に入力されます。

Label Creator レイアウトには、以下のスマート オブジェクトがあります。

- アーティスト
- ファイル/フォルダー リスト
- 背景
- ロゴ
- チャプター リスト
- ムービーの再生時間
- コンテンツのイラスト
- ファイル数
- コンテンツ メディア種類アイコン
- オーバースパン ディスク番号
- 著作権
- 画像インデックス
- 日付
- シリアル番号
- 説明
- タイトル
- ディスクの種類アイコン
- トラック リスト
- ディスク ボリューム ラベル

注意: スマート オブジェクトの中には、特定のレイアウトにしか使用されないものがあります。たとえば、トラック リスト オブジェクトがあるのはオーディオ テンプレートだけです。

スマート オブジェクトの内容の変更と書式設定については、[テキストとグラフィックを操作する](#)を参照してください。

レイアウトに表示するスマート オブジェクトを選択するには:

- 1 レイアウトを編集領域で、**スマート オブジェクトを表示/非表示**をクリックします。
- 2 レイアウトに表示するスマート オブジェクトを選択します。表示しないオブジェクトの選択を解除します。
- 3 **OK** をクリックします。
選択したスマート オブジェクトが、レイアウト領域の右側に表示されます。

注意: レイアウトで作業しているときに、スマート オブジェクトを選択して **Delete** キーを押すと、スマート オブジェクトを隠すことができます。ただし、この操作を行えるのはスマート オブジェクトだけです。他のオブジェクトに対してこの操作を行うと、そのオブジェクトは隠されるのではなく、削除されます。

以下も参照してください:

- [スマート オブジェクトに自動記入する](#)
- [レイアウトを選択する](#)
- [スタイルを適用する](#)
- [オブジェクトを操作する](#)
- [テキストとグラフィックを操作する](#)
- [背景色と背景イメージを追加する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

Label Creator

スマート オブジェクトに自動記入する

Label Creator では、スマート オブジェクトにデータを自動記入できます。この操作を行うには、次の 3 通りの方法があります。

- CD や DVD から情報を読み取る。または、オンラインで情報を検索する。
- 他の Roxio コンポーネントでプロジェクトに追加した情報を使用する。これは、別の Roxio コンポーネントで現在のプロジェクト用のラベルを作成した場合です。Label Creator によって、そのプロジェクト内の情報が抽出され、スマート オブジェクトに自動的に入力されます。
- スマート オブジェクトに手動で入力した情報を使用する。

スマート オブジェクトの内容の変更と書式設定については、[テキストの操作の概要](#)を参照してください。

スマート オブジェクトに自動記入するには:

- レイアウトを編集領域で、**ディスク ラベルの自動記入**を選択します。
すべてのプロジェクト レイアウト内のスマート オブジェクトにデータが入力されます。

以下も参照してください:

- [スマート オブジェクトを選択する](#)
- [レイアウトを選択する](#)
- [オブジェクトを操作する](#)
- [背景色と背景イメージを追加する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

Label Creator

スマート オブジェクトに自動記入する

Label Creator では、スマート オブジェクトにデータを自動記入できます。この操作を行うには、次の 3 通りの方法があります。

- CD や DVD から情報を読み取る。または、オンラインで情報を検索する。
- 他の Roxio コンポーネントでプロジェクトに追加した情報を使用する。これは、別の Roxio コンポーネントで現在のプロジェクト用のラベルを作成した場合です。Label Creator によって、そのプロジェクト内の情報が抽出され、スマート オブジェクトに自動的に入力されます。
- スマート オブジェクトに手動で入力した情報を使用する。

スマート オブジェクトの内容の変更と書式設定については、[テキストの操作の概要](#)を参照してください。

スマート オブジェクトに自動記入するには：

- レイアウトを編集領域で、**ディスク ラベルの自動記入**を選択します。
すべてのプロジェクト レイアウト内のスマート オブジェクトにデータが入力されます。

以下も参照してください：

- [スマート オブジェクトを選択する](#)
- [レイアウトを選択する](#)
- [オブジェクトを操作する](#)
- [背景色と背景イメージを追加する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ：お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

Label Creator オブジェクトの操作について

Label Creator のオブジェクトは主に、次の 3 つの種類に分類できます。

- **テキスト:** スマート オブジェクトと標準テキスト オブジェクト。標準テキスト オブジェクトは、テキストを追加ボタンを使って追加されるオブジェクトです。スマート オブジェクトは、新しいプロジェクトを作成したときにレイアウトにデフォルトで存在するテキスト オブジェクトです。
- **形状:** 円、長方形、および線。
- **グラフィック:** イメージおよび画像インデックス オブジェクト。ハード ディスク上のフォトなどのイメージを使用したり、イメージをスキャンしたりできます。

基本的にオブジェクトはすべて同じように機能しますが、1 つだけ違いがあります。Label Creator は、インターネットで見つけた情報や他の コンポーネントで見つけた情報をスマート オブジェクトに自動的に入力します。詳細については、[スマート オブジェクトを選択する](#)を参照してください。

以下も参照してください:

- [テキスト、形状、およびイメージを追加する](#)
- [スマート オブジェクトを選択する](#)
- [画像インデックスを追加する](#)
- [オブジェクトを選択/クリアする](#)
- [オブジェクトの形状とサイズを変更する](#)
- [オブジェクトの位置を揃える](#)
- [テキストとグラフィックを操作する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

Label Creator

テキスト、形状、およびイメージを追加する

標準テキスト、形状、およびグラフィックをレイアウトに追加するには、次の手順で操作します。スマートオブジェクトの追加の詳細については、[スマート オブジェクトを選択する](#)を参照してください。

レイアウトに形状またはテキスト オブジェクトを追加するには：

- 1 オブジェクトを追加領域で、追加するオブジェクトの種類を選択します。
選択したオブジェクトが、レイアウト領域の右側にある印刷領域外の部分に追加されます。
- 2 この節の以下の手順を実行し、オブジェクトを選択、移動、またはサイズ変更します。

レイアウトにイメージを追加するには、次のいずれかの操作を行います：

- オブジェクトを追加領域で**イメージを追加**を選択するか、**追加 > イメージ > ファイルから**の順に選択します。
追加ダイアログ ボックスが表示されます。追加するイメージを指定し、**開く**をクリックします。
- オブジェクトを追加領域で**イメージをスキャン**をクリックするか、**追加 > イメージ > スキャン**の順に選択します。
Roxio Media Import が開きます。使用するスキャナーを選択し、イメージをプレビューした後、**今すぐインポート**をクリックしてイメージをプロジェクトにスキャンします。必要に応じて、レイアウト内のイメージを移動またはサイズ変更します。詳細については、[プロジェクト用にイメージをスキャンする](#)を参照してください。
- 別のアプリケーションでイメージを選択し、コピーしてレイアウト領域に貼り付けるか、レイアウト領域にドラッグ アンド ドロップしてから、必要に応じてイメージを移動したりサイズを変更したりします。
別のアプリケーションで選択したイメージ ファイルの種類が Label Creator でサポートされていない場合は、レイアウト領域にドラッグ アンド ドロップできません。

以下も参照してください：

- [スマート オブジェクトを選択する](#)
- [画像インデックスを追加する](#)
- [オブジェクトを選択/クリアする](#)
- [オブジェクトの形状とサイズを変更する](#)
- [オブジェクトの位置を揃える](#)
- [オブジェクトを移動する](#)
- [オブジェクトをコピー/貼り付ける](#)
- [オブジェクトを重ねる](#)
- [テキストとグラフィックを操作する](#)

[ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

画像インデックスを追加する

画像インデックスとは、格子状に並べられた小さなサムネイルの集合のことです。たとえば、フォトを含むディスクのカバーやブックレットを作成するときなどに画像インデックスを作成します。カバーに画像インデックスを追加すると、ディスクに含まれるフォトが一目でわかるので非常に便利です。

レイアウトに画像インデックスを追加するには:

- 1 オブジェクトを追加領域で、**画像インデックスを追加**をクリックします。
画像インデックスのプロパティ ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2 **追加**をクリックして、インデックスにイメージを追加します。
追加ダイアログ ボックスが表示されます。
- 3 追加するイメージ ファイルを探して選択します。
複数のファイルを同時に選択するには、**Ctrl** キーを押したまま目的のイメージ ファイルをクリックします。
フォルダー内のすべてのイメージ ファイルを選択するには、フォルダーを選択します。
- 4 **開く**をクリックします。
イメージ ファイルがイメージ リストに追加されます。

注意: 別のアプリケーションでファイルおよびフォルダーを選択し、イメージ リスト領域にドラッグ アンド ドロップすることもできます。ファイルの種類が Label Creator でサポートされていない場合は、イメージ リスト領域にドラッグ アンド ドロップできません。

- 5 **オプション:** リストからイメージ ファイルを削除するには、イメージを選択して**削除**をクリックします。
イメージをすべて削除する場合は、**すべて削除**をクリックします。
- 6 **オプション:** リスト内のイメージ ファイルを再配置するには、イメージ ファイルを選択して**上へ移動**または**下へ移動**をクリックします。1 つずつ移動するので、目的の位置に配置されるまで必要な回数クリックします。複数のイメージを選択して、グループ単位で再配置することもできます。
- 7 以下のボタンを使用して、画像インデックス イメージのレイアウトを整列します。
 - **行:** 行数を設定します。
 - **列:** 列数を設定します。
 - **サムネイルの間隔:** イメージ間のピクセル数を設定します。
- 8 **OK** をクリックします。
画像インデックス オブジェクトがレイアウトに追加されます。

画像インデックスの形状またはサイズを変更するには:

- 1 画像インデックス オブジェクトをクリックします。
サイズ変更ハンドルが表示されます。
- 2 次のいずれかの操作を行います。
 - 角のサイズ変更ハンドルの上にカーソルを置き、ドラッグして目的のサイズに変更します。
画像インデックス オブジェクトのサイズを変更しても行数と列数はそのまま維持され、新しいオブジェクトのサイズに合うようにサムネイルのサイズが変更されます。
 - 左中央または右中央のサイズ変更ハンドルの上にカーソルを置き、ドラッグして目的のサイズに変更します。
画像インデックス オブジェクトのサイズを変更しても行数はそのまま維持され、新しいオブジェクトのサイズに合うように列数が変更されます。
 - 上中央または下中央のサイズ変更ハンドルの上にカーソルを置き、ドラッグして目的のサイズに変更します。
画像インデックス オブジェクトのサイズを変更しても行数はそのまま維持され、新しいオブジェクトのサイズに合うように列数が変更されます。

注意: 上または下のハンドルをドラッグするときは、オブジェクトのサイズを新しい行または列が追加されるのに十分な大きさに変更する必要があります。サイズ変更によって新しい行または列が追加される際は、イメージの外枠が表示されます。

以下も参照してください:

- [スマート オブジェクトを選択する](#)
- [テキスト、形状、およびイメージを追加する](#)
- [オブジェクトを選択/クリアする](#)
- [オブジェクトの形状とサイズを変更する](#)
- [オブジェクトの位置を揃える](#)
- [オブジェクトを移動する](#)
- [オブジェクトをコピー/貼り付ける](#)
- [オブジェクトを重ねる](#)
- [テキストとグラフィックを操作する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

オブジェクトを選択/クリアする

形状またはテキスト オブジェクトを選択するには、次のいずれかの操作を行います。

- オブジェクトをクリックします (線オブジェクトの場合は両端以外の場所をクリック)。ハンドルが表示されます。
- **編集 > オブジェクト セレクター** をクリックします。次に、リスト内のオブジェクトをダブルクリックするか、オブジェクトを選択して **選択** をクリックします。選択したオブジェクト以外は、レイアウト領域での選択が解除されます。

背景オブジェクトを選択するには、次のいずれかの操作を行います。

- 背景イメージをクリックします。
- **編集 > 背景オブジェクトを選択** をクリックします。選択した背景がレイアウト領域で選択されます。

注意: 背景を誤って再配置するのを防ぐには、**ツール > 選択範囲をロック** をクリックします。

オブジェクトを 1 つ選択してから複数のオブジェクトを選択するには、次のいずれかの操作を行います。

- **Ctrl** キーを押したまま、次のオブジェクトを選択します。
- **Shift** キーを押したまま、次のオブジェクトを選択します。
- マウスを使って、選択するすべてのオブジェクト上をドラッグします。

最初に選択した項目には、塗りつぶされたハンドルが表示されます。オブジェクトのサイズを同じにする、オブジェクトを整列する、またはオブジェクトを中央揃えにするためのオプションを使用した場合は、最初のオブジェクトの該当するプロパティが選択した他のオブジェクトすべてに適用されます。

選択した複数のオブジェクトの中から 1 つのオブジェクトをクリアするには:

- **Ctrl** キーを押したままそのオブジェクトをクリックします。

すべてのオブジェクトをクリアするには:

- オブジェクトの外側 (ただし、キャンバス内) をクリックします。

以下も参照してください:

- [テキスト、形状、およびイメージを追加する](#)
- [スマート オブジェクトを選択する](#)
- [画像インデックスを追加する](#)
- [オブジェクトの形状とサイズを変更する](#)
- [オブジェクトの位置を揃える](#)
- [オブジェクトを移動する](#)
- [オブジェクトをコピー/貼り付ける](#)
- [オブジェクトを重ねる](#)
- [テキストとグラフィックを操作する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

オブジェクトを移動する

オブジェクトを移動するには:

- オブジェクトをクリックしてから、目的の場所にドラッグします。

注意: 線オブジェクトを移動する場合は、両端以外の線上をクリックします。

以下も参照してください:

- [テキスト、形状、およびイメージを追加する](#)
- [スマート オブジェクトを選択する](#)
- [画像インデックスを追加する](#)
- [オブジェクトの形状とサイズを変更する](#)
- [オブジェクトの位置を揃える](#)
- [オブジェクトを選択/クリアする](#)
- [オブジェクトをコピー/貼り付ける](#)
- [オブジェクトを重ねる](#)
- [テキストとグラフィックを操作する](#)

[🏠 ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合があります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

オブジェクトをコピー/貼り付ける

オブジェクトをクリップボードにコピーするには:

- オブジェクトを選択し、次のいずれかの操作を実行してオブジェクトをコピーします。
 - **編集 > コピー** を選択します。
 - オブジェクトを右クリックし、**コピー**を選択します。
 - ショートカット(**Ctrl-C** キー)を使用します。

クリップボードからオブジェクトを貼り付けるには、次のいずれかの操作を行います。

- **編集 > 貼り付け** を選択します。
- ショートカット(**Ctrl-V** キー)を使用します。

以下も参照してください:

- [テキスト、形状、およびイメージを追加する](#)
- [スマート オブジェクトを選択する](#)
- [画像インデックスを追加する](#)
- [オブジェクトの形状とサイズを変更する](#)
- [オブジェクトの位置を揃える](#)
- [オブジェクトを移動する](#)
- [オブジェクトを選択/クリアする](#)
- [オブジェクトを重ねる](#)
- [テキストとグラフィックを操作する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

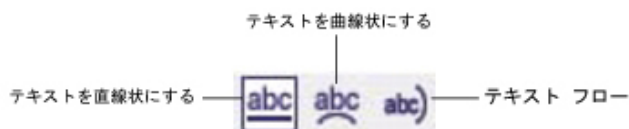
Label Creator

オブジェクトの形状とサイズを変更する

テキスト オブジェクトの形状は、カーブまたはストレートのいずれかに設定できます。グラフィック オブジェクトの場合は、サイズを変更して成形します。

テキスト オブジェクトの形状を変更するには:

- テキスト オブジェクトを選択し、次のいずれかのボタンをクリックして形状を変更します。



オブジェクトのサイズを変更するには:

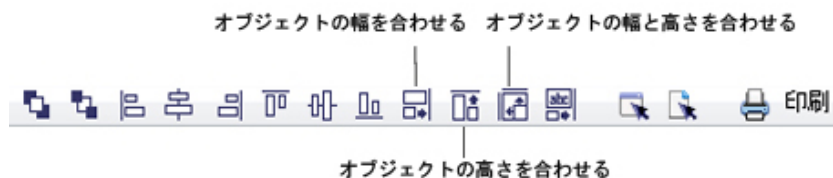
- オブジェクトを選択し、次のいずれかの操作を実行してオブジェクトのサイズを変更します。
 - オブジェクトがグラフィック オブジェクトまたはテキスト オブジェクトの場合は、ハンドルの上にカーソルを置き、ドラッグしてサイズを変更します。
 - テキスト オブジェクトの場合は、オブジェクトを右クリックして**テキストに合わせてサイズ変更**を選択します。この操作により、オブジェクトはその中のテキストと同じくらいのサイズになります。
 - 線オブジェクトの場合は、いずれかの終点にカーソルを置き、ドラッグして位置を変更します。

オブジェクトのサイズを合わせる

複数のオブジェクトを選択し、それらを最後に選択したオブジェクトと同じサイズにできます。

複数のオブジェクトのサイズを同じにするには:

- 1 **Ctrl** キーを押したまま、サイズ変更するオブジェクトを選択します。基準のサイズとなるオブジェクトを最後に選択します。
- 2 ツールバーの一番上の行で、次のいずれかのツールを選択します。



以下も参照してください:

- [テキスト、形状、およびイメージを追加する](#)
- [スマート オブジェクトを選択する](#)
- [画像インデックスを追加する](#)
- [オブジェクトを選択/クリアする](#)
- [オブジェクトの位置を揃える](#)
- [オブジェクトを移動する](#)
- [オブジェクトをコピー/貼り付ける](#)
- [オブジェクトを重ねる](#)
- [テキストとグラフィックを操作する](#)

🏠 ページのトップへ

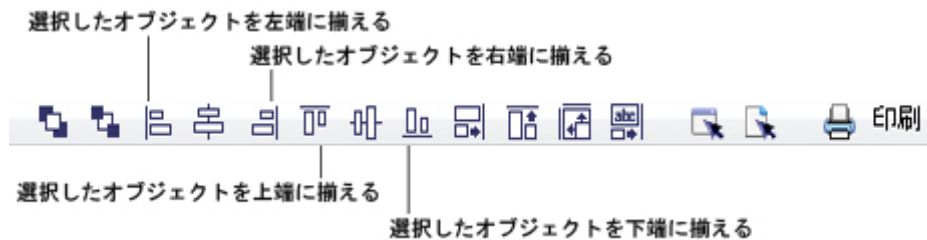
メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンラインヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

オブジェクトの位置を揃える

複数のオブジェクトの位置を左右上下に揃えたり、中央に揃えたりできます。位置揃えの基準として使用されるのは、最後に選択した(塗りつぶされたハンドルの付いた)オブジェクトです。

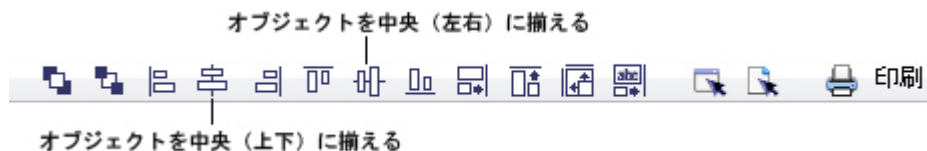
オブジェクトの位置を左右上下に揃えるには:

- 1 **Ctrl** キーを押したまま、位置変更するオブジェクトを選択します。位置揃えの基準となるオブジェクトを最後に選択します。
- 2 ツールバーで、次のいずれかのツールを選択します。



オブジェクトを中央に揃えるには:

- 複数のオブジェクトを選択し、ツールバーで次のいずれかの中央揃えツールを選択します。



以下も参照してください:

- [テキスト、形状、およびイメージを追加する](#)
- [スマートオブジェクトを選択する](#)
- [画像インデックスを追加する](#)
- [オブジェクトの形状とサイズを変更する](#)
- [オブジェクトを選択/クリアする](#)
- [オブジェクトを移動する](#)
- [オブジェクトをコピー/貼り付ける](#)
- [オブジェクトを重ねる](#)
- [テキストとグラフィックを操作する](#)

[ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

オブジェクトを重ねる

オブジェクトは積み重ねることができます。複数のオブジェクトを選択した場合は、最後に選択したオブジェクトに積み重ね操作が適用されます。たとえば、最背面へ移動を使用すると、最後に選択したオブジェクトがその他のオブジェクトの下に移動します。また、最前面へ移動を使用すると、最後に選択したオブジェクトがその他のオブジェクトの上に移動します。

オブジェクトを積み重ねるには：

- 複数のオブジェクトを選択し、ツールバーで次のいずれかの積み重ねツールを選択します。

オブジェクトを最前面へ移動



オブジェクトを最背面へ移動

以下も参照してください：

- [テキスト、形状、およびイメージを追加する](#)
- [スマート オブジェクトを選択する](#)
- [画像インデックスを追加する](#)
- [オブジェクトの形状とサイズを変更する](#)
- [オブジェクトの位置を揃える](#)
- [オブジェクトを移動する](#)
- [オブジェクトをコピー/貼り付ける](#)
- [オブジェクトを選択/クリアする](#)
- [テキストとグラフィックを操作する](#)

[🏠 ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

Label Creator

背景色と背景イメージを追加する

背景は、特殊なタイプのスマート オブジェクトです。背景には、イメージ、色、またはその両方を使用できます。背景イメージには透明度を設定でき、着色効果を作り出す色を追加することもできます。

カスタム背景を作成し、それをプロジェクト内の別のレイアウトに適用できます。また、スタイルとして保存すれば、別のプロジェクトでも使用できます。詳細については、[カスタム スタイルを作成する](#)を参照してください。

背景色または背景イメージを追加するには:

- 1 レイアウトを編集領域で、**背景を編集**をクリックします。
背景のプロパティ ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2 イメージを追加するには、**次のイメージを背景イメージとして使用する**チェック ボックスをオンにして、次のいずれかの操作を行います。
 - **参照**をクリックし、ハード ディスク上のイメージを指定します。
 - **スキャン**をクリックして、Label Creator にイメージをスキャンします。詳細については、次の手順を参照してください。
- 3 レイアウトの背景として色を使用するには、表示されるパレットから色を選択します。または、**その他の色**をクリックしてさらに大きなパレットから色を選択するか、カスタム色を作成します。
- 4 **オプション**:プロジェクト内のすべてのレイアウトで背景として同じイメージまたは色を使用するには、**すべてのレイアウトに適用**チェック ボックスをオンにします。
- 5 **OK** をクリックします。

イメージをレイアウトの背景としてスキャンするには:

- 1 スキャンしたイメージを挿入するレイアウトを選択します。
- 2 スキャナーにスキャンするイメージをセットします。
- 3 レイアウトを編集領域で、**背景を編集**をクリックします。
背景のプロパティ ダイアログ ボックスが表示されます。
- 4 背景を編集領域で、**次のイメージを背景イメージとして使用する**チェック ボックスをオンにします。
- 5 **オプション**:同じイメージをすべてのレイアウトに適用するには、**すべてのレイアウトに適用**チェック ボックスをオンにします。
- 6 **スキャン**をクリックします。
Roxio Media Import が開きます。
- 7 使用するスキャナーを選択し、**プレビュー**をクリックしてイメージが正しく配置されていることを確認します。必要に応じて調整します。
- 8 **今すぐインポート**をクリックします。
イメージがプロジェクトにインポートされ、すべてのレイアウトの背景として表示されます(該当するオプションを選択した場合)。

背景イメージの透明度を設定するには:

- 1 イメージ、色、またはその両方を背景に追加します。
- 2 **編集 > 背景オブジェクトを選択**をクリックします。
- 3 ツールバーの一番下にある矢印をクリックします。
スライダーが表示されます。



- 4 スライダーを使って背景イメージの透明度を調整します。左にドラッグすると透明度が低くなり、右にドラッグすると高くなります。

背景をロックするには:

- 背景イメージの位置を誤って変更しないようにするには、背景イメージを選択し、右クリックして**ロック**をクリックします(または、**ツール > 選択範囲をロック**を選択します)。

以下も参照してください:

- [オブジェクトの形状とサイズを変更する](#)
- [オブジェクトを移動する](#)
- [プロジェクト用にイメージをスキャンする](#)
- [テキストとグラフィックを操作する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ:お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

Label Creator

テキストの操作の概要

標準テキスト オブジェクトは、テキストを追加ボタンを使って追加されるオブジェクトです。スマート オブジェクトは、新しいプロジェクトを作成したときにレイアウトにデフォルトで存在するテキスト オブジェクトです。どちらの種類テキストも書式の設定方法は同じですが、内容を変更する手順は異なります。

スマート オブジェクトの詳細については、[スマート オブジェクトを選択する](#)、および[スマート オブジェクトに自動記入する](#) を参照してください。

以下も参照してください：

- [テキスト、形状、およびイメージを追加する](#)
- [オブジェクトを選択/クリアする](#)
- [テキストの内容を編集する](#)
- [テキストの書式を設定する](#)
- [グラフィック オブジェクトの外観を変更する](#)
- [プロジェクト用にイメージをスキャンする](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

Label Creator

テキストの内容を編集する

テキスト オブジェクトを作成すると、サンプル テキストが入力されたテキスト オブジェクトがレイアウトに表示されます。サンプル テキストを独自のテキストに置き換えるには、次の操作を行います。

標準テキスト オブジェクトの編集は、スマート オブジェクトの編集とは少し異なります。

標準テキスト オブジェクトを編集する

標準テキスト オブジェクトを編集するには：

- 1 標準テキスト オブジェクトを選択し、次のいずれかの操作を実行してオブジェクトを編集します。
 - オブジェクトをダブルクリックします。
 - オブジェクトを右クリックし、ポップアップ メニューから**テキストを編集**を選択します。
- 2 テキストがハイライトされ、直接編集できるようになります。ツールバーのテキスト オプションも使用できます。
- 3 ツールバーでは設定できないその他のテキスト フォーマットを追加または変更するには、オブジェクトを右クリックし、ポップアップ メニューから**テキストを編集**を選択します。

スマート オブジェクトのテキストを編集する

スマート オブジェクトのテキストを編集する 2 通りの方法があり、編集するテキストの種類によって決まります。スマート オブジェクトの種類に応じて、その場に表示されるテキスト エディターで編集するか、内容に固有のテキスト エディターで編集します。

その場で編集できるスマート オブジェクトは次のとおりです。

- アーティスト
- ムービーの再生時間
- 著作権
- ファイル数
- 説明
- タイトル
- ディスク ボリューム ラベル

内容に固有のエディターで編集するスマート オブジェクトは次のとおりです。

- チャプター タイトル
- オーバースパン ディスク番号
- 日付
- シリアル番号
- ファイル/フォルダー リスト
- トラック リスト

スマート オブジェクトのテキストをその場で編集するには：

- 1 スマート オブジェクトを選択し、次のいずれかの操作を行います。
 - オブジェクトをダブルクリックします。
 - オブジェクトを右クリックし、ポップアップ メニューから**テキストを編集**を選択します。スマート オブジェクトの外枠が表示され、デフォルトのテキストまたは自動記入されたテキストがハイライトされます。
- 2 新しいテキストを入力する場合は、ハイライトされているテキストを上書きします。

スマート オブジェクトのテキストを内容に固有のエディターで編集するには：

- 1 スマート オブジェクトを選択し、次のいずれかの操作を行います。
 - オブジェクトをダブルクリックします。
 - オブジェクトを右クリックし、ポップアップ メニューから**テキストを編集**を選択します。スマート オブジェクトの内容に固有のエディターが表示され、デフォルトのテキストまたは自動記入されたテキストがハイライトされます。

2 新しいテキストを入力する場合は、ハイライトされているテキストを上書きします。

チャプター リスト、トラック リスト、またはファイル/フォルダー リストを編集するには:

- 1 チャプター リスト、トラック リスト、またはファイル/フォルダー リストのスマート オブジェクトを選択し、次のいずれかの操作を行います。
 - オブジェクトをダブルクリックします。
 - オブジェクトを右クリックし、ポップアップ メニューから**テキストを編集**を選択します。プロパティダイアログ ボックスが表示されます。
- 2 プレースホルダー テキストまたは自動記入された内容を選択します。

注意: スマート オブジェクトのリストを自動記入した場合は、ディスクから取得した情報が入力され、リストの最後にプレースホルダー テキストの行が追加されます。

- 3 新しいテキストを入力するには、ハイライトされているプレースホルダー テキストまたは自動記入されたテキストを上書きし、**Enter** キーを押します。
リストの最後に新しいプレースホルダー テキストの行が追加されます。
- 4 **オプション:** テキスト行をさらに追加するには、手順 2 と手順 3 を繰り返します。
- 5 **オプション:** チャプター タイトル リストまたはトラック タイトル リストを編集する場合は、次のいずれかの操作を実行できます。
 - **トラックの再生時間を表示** チェック ボックスをオンにし、再生時間フィールドに各トラックの再生時間を自動入力するか、再生時間フィールドをクリックしてクリアします (オーディオ プロジェクトのみ)。
 - **チャプターの再生時間を表示** チェック ボックスをオンにし、再生時間フィールドに各チャプターの再生時間を自動入力するか、再生時間フィールドをクリックしてクリアします (ビデオ プロジェクトのみ)。
 - チャプター タイトル リストまたはトラック タイトル リストの項目を編集する場合は、**Tab** キーを押して再生時間フィールドにテキストを入力するか、既存のテキストを編集します。
- 6 **オプション:** ドロップダウン リストとチェック ボックスを使ってフォント、フォント サイズ、およびテキスト効果を選択します (詳細については、[テキストの書式を設定する](#)を参照)。
- 7 **オプション:** テキスト効果のドロップダウン リスト、チェック ボックス、およびスライダーを使って、色、影、および外枠などのテキスト効果のプロパティを変更します (詳細については、[テキストの書式を設定する](#)を参照)。
- 8 **OK** をクリックします。
プロジェクト内にあるチャプター リスト、トラック リスト、またはファイル/フォルダー リストのオブジェクトが更新されます。

日付オブジェクトを編集するには:

- 1 スマート オブジェクトを選択し、次のいずれかの操作を行います。
 - オブジェクトをダブルクリックします。
 - オブジェクトを右クリックし、ポップアップ メニューから**テキストを編集**を選択します。日付ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2 表示される日付をそのまま使用するか、矢印をクリックしてポップアップ カレンダーから日付を選択します。
- 3 **OK** をクリックします。
プロジェクトの日付オブジェクトが更新されます。

オーバースパン ディスク番号オブジェクトを編集するには:

- 1 スマート オブジェクトを選択し、次のいずれかの操作を行います。
 - オブジェクトをダブルクリックします。
 - オブジェクトを右クリックし、ポップアップ メニューから**テキストを編集**を選択します。

オーバースパン ディスク番号ダイアログ ボックスが表示されます。

- 2 番号またはディスク枚数を入力し、フォーマットを選択して **OK** をクリックします。
プロジェクト内のオーバースパン ディスク番号オブジェクトが更新されます。

注意: プロジェクトを保存すると、番号の書式が保存されます。次にプロジェクトを開くときは、保存した書式が表示されます。

シリアル番号を編集するには:

- 1 スマート オブジェクトを選択し、次のいずれかの操作を行います。
 - オブジェクトをダブルクリックします。
 - オブジェクトを右クリックし、ポップアップ メニューから**テキストを編集**を選択します。
シリアル番号のプロパティ ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2 ラベルに印刷するシリアル番号を入力し、ラベルを印刷するたびにいくつずつシリアル番号を増やすかを設定して、**OK** をクリックします。
プロジェクト内のシリアル番号オブジェクトが更新されます。

注意: プロジェクトを保存すると、最後に印刷したシリアル番号と増分値が保存されます。次にプロジェクトを開くときは、保存した番号と増分値が表示されます。前回の続きの番号と、同じ増分値を使って引き続きラベルを印刷できます。**リセット**をクリックするとこれらの値はクリアされます。

以下も参照してください:

- [テキスト、形状、およびイメージを追加する](#)
- [オブジェクトを選択/クリアする](#)
- [テキストの書式を設定する](#)
- [グラフィック オブジェクトの外観を変更する](#)
- [プロジェクト用にイメージをスキャンする](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

Label Creator

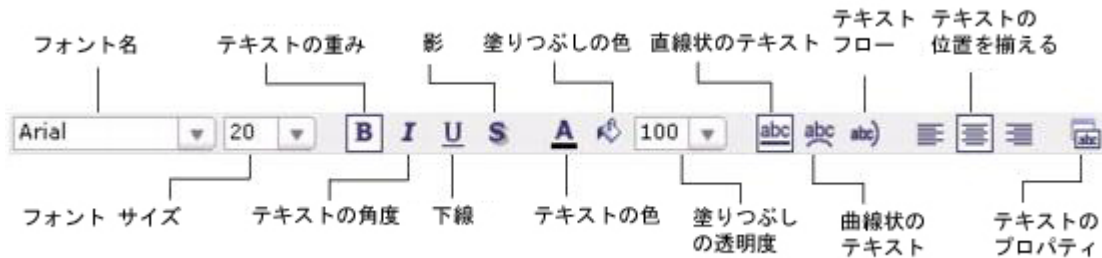
テキストの書式を設定する

フォント、サイズ、色、およびその他のテキストのプロパティを変更するには、次の手順で操作します。

書式の設定には、ツールバーまたはテキストのプロパティ ダイアログ ボックスを使用します。テキストのプロパティ ダイアログ ボックスでは、ツールバーと同じ書式設定を行えるだけでなく、より多くの書式設定オプションを使用できます。

テキストの書式を設定するには：

- 1 書式を設定するテキストを選択し、次のいずれかの操作を行います。
 - 以下のツールバーのボタンを使ってテキストの書式を設定します。



- テキストを右クリックして**プロパティ**をクリックし、テキスト プロパティ ダイアログ ボックスを開きます。
- 2 ドロップダウン リストとボタンを使って、フォント、フォント サイズ、テキストの色、位置揃え、およびその他のテキストのプロパティを変更します。
効果を適用した場合のテキストがプレビューに表示されます。
- 3 その他の書式を設定するには、以下の手順を実行します。

効果を適用するには、次のいずれかの操作を行います。

- **太字、斜体、または下線**のチェック ボックスをオンにします。
- **影、テキストの色、塗りつぶしの色、または透明度**のチェック ボックスをオンにします。
- **直線状のテキスト、曲線状のテキスト、またはテキスト フロー**のチェック ボックスをオンにします。
- **左揃え、右揃え、または中央揃え**のチェック ボックスをオンにします。

テキストを回転するには：

- 直線状のテキストの場合は、テキストの回転角度を表すボタンを選択します。
- 曲線状のテキストまたはテキスト フローの場合は、**時計回り**または**反時計回り**を選択します。

3 D テキスト効果を適用するには：

- 1 テキスト効果領域のドロップダウン リストからスタイルを選択します。
- 2 影付きのスタイルを選択した場合は、影の色も選択します。
- 3 **輪郭の色**をクリックして、色を選択します。
- 4 **塗りつぶしの色**をクリックして色を選択し、スライダーを使って透明度を設定します。
- 5 **外枠の色**をクリックして色を選択し、スライダーを使って透明度を設定します。次に、**太さ**をクリックして外枠の太さを選択します。
- 6 次のいずれかの方法で、影のデルタ値の x 値と y 値を変更します。
 - 増減ボタン(+ と -)を使用します。
 - 表示されている値を選択し、新しい値を入力します(最高値は 50)。

レイアウト上のすべてのテキストに書式を適用するには：

- **現在のフォントをすべてのテキスト オブジェクトに適用する**チェック ボックスをオンにします。

テキストを変更するには:

- **テキストを編集** ボタンをクリックして、新しいテキストを入力します。

以下も参照してください:

- [テキスト、形状、およびイメージを追加する](#)
- [オブジェクトを選択/クリアする](#)
- [テキストの内容を編集する](#)
- [グラフィック オブジェクトの外観を変更する](#)
- [プロジェクト用にイメージをスキャンする](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

グラフィック オブジェクトの外観を変更する

グラフィック オブジェクトには、次のプロパティを設定できます。

- **塗りつぶしの色**は、オブジェクトの背景色に適用されます。
- **塗りつぶしの透明度**は、オブジェクトの不透明度に適用されます。
- **線の色**は、オブジェクトの境界線(破線を含む)の色に適用されます。
- **線の透明度**は、境界線の不透明度に適用されます。
- **線の太さ**は、オブジェクトの境界線に適用されます。

グラフィック オブジェクトの塗りつぶしまたは線の色を変更するには:

- 1 グラフィック オブジェクトを選択します。
- 2 ツールバーの**塗りつぶし**または**線の色**をクリックします。
色を選択ダイアログ ボックスが表示されます。
- 3 表示されるパレットから色を選択します。または、**色の作成**をクリックしてさらに大きなパレットから色を選択するか、カスタム色を作成します。
- 4 **OK** をクリックして、色を選択ダイアログ ボックスを終了します。
指定した色が選択したオブジェクトに適用されます。

グラフィック オブジェクトの塗りつぶしまたは線の透明度を変更するには:

- ツールバーで塗りつぶしまたは線のスライダーを使用して、透明度を設定します。

グラフィック オブジェクトの線の太さを変更するには:

- ツールバーでドロップダウン リストの矢印をクリックして、線の太さを選択します。

以下も参照してください:

- [テキスト、形状、およびイメージを追加する](#)
- [オブジェクトを選択/クリアする](#)
- [プロジェクト用にイメージをスキャンする](#)
- [背景色と背景イメージを追加する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

プロジェクト用にイメージをスキャンする

コンピューターにスキャナーが接続されている場合は、Label Creator を使ってイメージをスキャンし、それをプロジェクトに直接インポートできます。イメージは、グラフィックまたは背景オブジェクトとしてプロジェクトにスキャンできます。グラフィック オブジェクトを作成するには、次の手順で操作します。レイアウトの背景として使用するイメージをスキャンする方法については、[背景色と背景イメージを追加する](#)を参照してください。

イメージをレイアウト用のグラフィック オブジェクトとしてスキャンするには：

- 1 スキャンしたイメージを挿入するレイアウトを選択します。
- 2 オブジェクトを追加領域で、**イメージをスキャン**を選択します。
Roxio Media Import が開きます。
- 3 フォトのインポートのホームページで、使用するスキャナーのボタンをクリックします。
- 4 スキャナーにフォトをセットします。
- 5 **プレビュー スキャン**をクリックします。
スキャナーでフォトのイメージをプレビューする準備が行われます。
- 6 ハード ディスクにインポートするプレビュー イメージの部分を選択します。
プレビュー イメージが破線のボックスで囲われます。ボックスを構成する線は、トリミング ラインと呼ばれます。各トリミング ラインの角と中央には、ハンドルと呼ばれる小さい四角形が付いています。
これらのハンドルをクリックして境界線をドラッグすれば、プレビュー イメージ全体を選択できます。インポートされるのは破線のボックスの内側だけで、外側の領域は削除されます。
- 7 スキャン品質を選択します。
- 8 ファイルのフォーマット、解像度、または色のモード(カラー、グレースケール、またはモノクロ)を変更するには、**オプション**をクリックします。詳細については、スキャナー オプションダイアログ ボックス内の**ヘルプ**をクリックしてください。
- 9 ファイルの保存先ボックスで、メディア ファイルを保存するフォルダーを選択します。

ヒント:ファイルの保存先を変更するには、**参照**をクリックして目的のフォルダーを指定し、**OK**をクリックします。

- 10 イメージ名の変更テキスト ボックスに、スキャンしたイメージの名前を入力します。
- 11 **今すぐインポート**をクリックします。
- 12 **完了**をクリックして Roxio Media Import を閉じ、Label Creator に戻ります。
- 13 必要に応じて、レイアウト内のイメージを移動またはサイズ変更します。

スキャンしたイメージを別のレイアウトにコピーするには：

- 1 スキャンしたイメージを選択します。
- 2 **編集 > コピー** を選択します。
- 3 レイアウト ナビゲーターで、イメージを配置するレイアウトを選択します。
- 4 **編集 > 貼り付け** を選択します。

以下も参照してください：

- [テキスト、形状、およびイメージを追加する](#)
- [オブジェクトを選択/クリアする](#)
- [テキストの内容を編集する](#)
- [テキストの書式を設定する](#)
- [グラフィック オブジェクトの外観を変更する](#)

- [背景色と背景イメージを追加する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

プロジェクト用にイメージをスキャンする

コンピューターにスキャナーが接続されている場合は、Label Creator を使ってイメージをスキャンし、それをプロジェクトに直接インポートできます。イメージは、グラフィックまたは背景オブジェクトとしてプロジェクトにスキャンできます。グラフィック オブジェクトを作成するには、次の手順で操作します。レイアウトの背景として使用するイメージをスキャンする方法については、[背景色と背景イメージを追加する](#)を参照してください。

イメージをレイアウト用のグラフィック オブジェクトとしてスキャンするには：

- 1 スキャンしたイメージを挿入するレイアウトを選択します。
- 2 オブジェクトを追加領域で、**イメージをスキャン**を選択します。
Roxio Media Import が開きます。
- 3 フォトのインポートのホームページで、使用するスキャナーのボタンをクリックします。
- 4 スキャナーにフォトをセットします。
- 5 **プレビュー スキャン**をクリックします。
スキャナーでフォトのイメージをプレビューする準備が行われます。
- 6 ハード ディスクにインポートするプレビュー イメージの部分を選択します。
プレビュー イメージが破線のボックスで囲われます。ボックスを構成する線は、トリミング ラインと呼ばれます。各トリミング ラインの角と中央には、ハンドルと呼ばれる小さい四角形が付いています。
これらのハンドルをクリックして境界線をドラッグすれば、プレビュー イメージ全体を選択できます。インポートされるのは破線のボックスの内側だけで、外側の領域は削除されます。
- 7 スキャン品質を選択します。
- 8 ファイルのフォーマット、解像度、または色のモード(カラー、グレースケール、またはモノクロ)を変更するには、**オプション**をクリックします。詳細については、スキャナー オプションダイアログ ボックス内の**ヘルプ**をクリックしてください。
- 9 ファイルの保存先ボックスで、メディア ファイルを保存するフォルダーを選択します。

ヒント:ファイルの保存先を変更するには、**参照**をクリックして目的のフォルダーを指定し、**OK**をクリックします。

- 10 イメージ名の変更テキスト ボックスに、スキャンしたイメージの名前を入力します。
- 11 **今すぐインポート**をクリックします。
- 12 **完了**をクリックして Roxio Media Import を閉じ、Label Creator に戻ります。
- 13 必要に応じて、レイアウト内のイメージを移動またはサイズ変更します。

スキャンしたイメージを別のレイアウトにコピーするには：

- 1 スキャンしたイメージを選択します。
- 2 **編集 > コピー** を選択します。
- 3 レイアウト ナビゲーターで、イメージを配置するレイアウトを選択します。
- 4 **編集 > 貼り付け** を選択します。

以下も参照してください：

- [テキスト、形状、およびイメージを追加する](#)
- [オブジェクトを選択/クリアする](#)
- [テキストの内容を編集する](#)
- [テキストの書式を設定する](#)
- [グラフィック オブジェクトの外観を変更する](#)

- [背景色と背景イメージを追加する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

Label Creator プロジェクトの印刷の概要

印刷には普通紙、特殊なラベル用紙、またはカバー用紙を使用できます。また、ディスク上に直接印刷したり、LightScribe 対応のレコーダーとディスクを使用したりすれば、ディスクにラベルを書き込むこともできます。

ディスクラベル、またはカバー用紙に印刷する

ディスクラベル用紙(特別にカットされた粘着用紙)は市販されています。Label Creator では事務用品店で市販されているほとんどのラベルを使用できます。カバー用紙は通常の印刷用紙よりも厚く、**カバーストック**と呼ばれることもあります。カバー用紙は、事務用品店やコンピューターの小売店にあります。

きれいに仕上げるには、ラベルをディスクの中央に揃えて貼り付けられるラベラーの使用をお勧めします。

注意: DVD ドライブの製造元によっては、ディスクにラベルを貼り付けないよう警告している場合もあります。レコーダーに付属のマニュアルを参照してください。

Label Creator には、市販のラベルやカバー用紙に対応した数多くの既定の設定が用意されています。これらの設定は、印刷ダイアログボックスにあります。ほとんどの場合は、正しい用紙を選択するだけで印刷を開始できます。

ディスクに直接印刷する

ディスクに直接印刷できるプリンターを使用する場合は、印刷プロセスで用紙を選択するときに、そのプリンターがメニューに表示されます。プリンターでサポートされているディスクのみを使用してください。通常の CD や DVD は使用できません。また、プリンターの製造元の指示に従ってプリンターを設定することも重要です。

紙面上に印刷する場合と同じ印刷手順で操作します。

LightScribe® を使用してディスクにラベルを書き込む

LightScribe Direct Disc Labeling は、ディスクを裏返してから同じディスクドライブ(つまり、データの書き込みに使用したドライブ)に戻すことによって CD および DVD のラベルを書き込めるディスクラベリング技術です。

詳細については、[LightScribe® を使用してディスクにラベルを書き込む](#) を参照してください。

ページのトップへ

メモ:お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンラインヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

Label Creator 印刷の準備

プリンターは製造元によってそれぞれ異なり、印刷位置も若干異なります。これは、「印刷位置の固有のずれ」として知られています。たとえば、同じアプリケーションから同じデータを印刷しても、2種類の異なるプリンターを使用した場合は印刷する位置が0.5ミリほどずれることがあります。

このわずかなずれはほとんど目立たないこともありますが、調整しないと市販の用紙上に慎重にデザインされたディスクラベルやカバーの外枠に自分のレイアウトが重なって印刷されることがあります。このようなことが起きると、用紙が無駄になり、もう一度印刷しなければなりません。

Label Creator で初めてプリンターを使用するときは、プリンターの印刷位置を調整するようにメッセージが表示されます。画面の指示に従って操作するか、後でプリンターを調整します。詳細については、[印刷位置を調整する](#)を参照してください。

注意: Label Creator で印刷位置を調整しても、他のアプリケーションでの印刷には影響しません。この調整は、Label Creator で印刷する場合にのみ適用されます。

ページのトップへ

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンラインヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

Label Creator

印刷の仕上がり状態をプレビューする

実際に印刷する前に、印刷の仕上がり状態を画面上で確認できます。

印刷プレビューを実行するには：

- 1 プレビューするレイアウトを選択します。
- 2 **表示** > **印刷状態で表示**をクリックします。
印刷範囲以外の部分が半透明になります。

以下も参照してください：

- [テスト ページを印刷する](#)
- [Label Creator プロジェクトを印刷する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ：お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

テスト ページを印刷する

専用の用紙（ラベルまたはカバー用紙など）で印刷する前に、普通紙（コピー用紙など）でレイアウトをテスト印刷できます。

テスト印刷は、以下のような場合にお勧めします。

- Label Creator で初めてプリンターを使用する場合。
- 新しい種類のラベルまたはカバー用紙を購入したばかりで、まだ一度も印刷したことがない場合。
- 印刷範囲の位置調整を行った直後で、まだ本番の印刷をしていない場合。

レイアウトのテスト印刷を行う前に、最終版のレイアウトを印刷する実際のラベルまたはカバー用紙を用意しておいてください。

テスト ページを印刷するには：

- 1 印刷ボタンをクリックし、テストするレイアウトを選択します。
- 2 普通紙（コピー用紙など）をプリンターにセットします。
- 3 **メディア**ドロップダウン リストで、次のいずれかのオプションを選択し、プロジェクトを印刷するメディアの種類を指定します。

- 標準用紙
- 市販用紙
- ディスクに印刷

紙の種類ドロップダウン リストの項目が、選択したメディアで使用できるオプションに変わります。

- 4 印刷ダイアログ ボックスで、**テスト ページを印刷**をクリックします。

テスト ページが印刷されます。

- 5 印刷したテスト ページをブランクのラベルまたはカバー用紙の上に重ねます。両方の用紙の端を揃え、光がさしてくる方向に向けます。

ラベルまたはカバー用紙の外枠がテスト ページを通して見えます。これにより、レイアウトがラベルまたはカバー用紙上の正しい位置に印刷されるかが分かります。

レイアウトがラベルまたはカバー用紙の外枠線内に印刷されている場合は問題ありません。このレイアウトとページ設定で印刷を実行できます。

レイアウトがラベルまたはカバー用紙の外枠線を超えて印刷されている場合は、[印刷位置を調整する](#)の手順に従って印刷設定を再調整します。

以下も参照してください：

- [Label Creator プロジェクトの印刷の概要](#)
- [印刷の準備](#)
- [印刷の仕上がり状態をプレビューする](#)
- [Label Creator プロジェクトを印刷する](#)

ページのトップへ

メモ：お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

Label Creator

Label Creator プロジェクトを印刷する

ディスクに直接印刷したり、特殊なラベル用紙やカバー用紙に印刷したりする前に、プリンターを調整してテスト ページを印刷しておくことをお勧めします。詳細については、以下の項を参照してください。

- [印刷位置を調整する](#)
- [テスト ページを印刷する](#)

LightScribe 対応のレコーダーとディスクを使用する場合は、[LightScribe®を使用してディスクにラベルを書き込む](#)を参照してください。

プロジェクトを印刷するには:

- 1 **印刷** ボタンをクリックするか、**ファイル > 印刷** を選択します。
印刷ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2 コンピューターに複数のプリンターが接続されている場合は、ドロップダウン リストでプリンターを選択します。
- 3 **オプション:プロパティ** をクリックして、用紙の種類や向きなどのプリンター設定を変更します。プリンター設定の詳細については、プリンターに付属のマニュアルを参照してください。
- 4 レイアウト ナビゲーターで、印刷するレイアウトのチェック ボックスを選択します。
- 5 **オプション:**レイアウトをプレビューするには、レイアウト ナビゲーターでレイアウトを選択します。
選択したレイアウトがプレビュー領域に表示されます。
- 6 **メディア** ドロップダウン リストで、次のいずれかのオプションを選択し、プロジェクトを印刷するメディアの種類を指定します。
 - **標準用紙**
 - **市販用紙**
 - **ディスクに印刷****紙の種類** ドロップダウン リストの項目が、選択したメディアで使用できるオプションに変わります。
- 7 **オプション:**[手順 6](#) で選択したメディアの種類と、選択したレイアウトに対応する印刷オプションが表示されるので、必要に応じて選択します。たとえば、メディアの種類が標準用紙で、用紙の種類がレター (8.5 x 11 in) の場合は、次のオプションを選択できます。
 - **ディスクの輪郭を印刷:** ディスクの輪郭が印刷されます。
 - **中央/コア ラベルを印刷:** ディスク ラベルを印刷する場合、ラベルの中央(コア)を印刷します。いずれのオプションも、テスト ページを印刷する場合に役立ちます。
- 8 コピー数を指定するには、**部数** ボックスで数値を選択します。
- 9 **オプション:**レイアウトにオーバースパン ディスク番号スマート オブジェクトがあり、プロジェクトが複数枚のディスクにわたって書き込まれる場合は、コピー数ダイアログ ボックスが表示されます。すべてのページを印刷するか、印刷するページの範囲を指定できます。
- 10 **オプション:** イメージが印刷範囲の外にはみ出してもいいようにイメージにブリーディングを設定するなど、印刷の基本設定を指定するには、**基本設定** をクリックします。
詳細については、印刷の基本設定ダイアログ ボックスの**ヘルプ** をクリックしてください。
- 11 **オプション:** 出力内容が用紙上の正しい位置に印刷されない場合は、プリンターを較正する必要があります。較正するには、**較正** をクリックします。詳細については、[印刷位置を調整する](#) を参照してください。
- 12 **オプション:** プロジェクトが用紙上の正しい位置に印刷されることを確認したい場合は、プロジェクト全体を実際に印刷する前に**テスト ページを印刷** をクリックしてテスト ページを印刷します。
- 13 **OK** をクリックして印刷を開始します。

以下も参照してください:

- [印刷位置を調整する](#)

- [印刷品質を向上させるためのヒント](#)
- [ラベルをディスクに貼る](#)
- [カバーをディスク ケースに挿入する](#)
- [LightScribe®を使用してディスクにラベルを書き込む](#)

[▲ ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合があります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

印刷位置を調整する

プリンターの調整では、画面上の表示と印刷出力のずれを調整して修正します。カードやラベルの場合は、特に較正が必要です。

プリンターの補正を実行する：

- 1 印刷ダイアログ ボックスで、**較正**をクリックします。
プリンターの調整ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2 コンピューターに複数のプリンターが接続されている場合は、ドロップダウン リストでプリンターを選択します。
- 3 **テスト ページを印刷**をクリックします。
位置の基準と、ページの再セット手順が記載されたテスト ページが印刷されます。**次へ**をクリックし、次のウィンドウを表示します。
- 4 テスト ページに記載されている手順に従ってテスト ページをプリンターに再セットし、**テスト文字を印刷**をクリックします。ページが印刷されたら、**次へ**をクリックして次のウィンドウを表示します。
- 5 テスト ページに記載されている手順に従って較正位置を入力し、**完了**をクリックします。
- 6 **OK** をクリックして、較正の設定を適用します。または、**キャンセル**をクリックして、変更を破棄します。
- 7 調整した設定で印刷を開始する前に、テスト印刷を行うことをお勧めします。詳細については、[テスト ページを印刷する](#)を参照してください。

以下も参照してください：

- [印刷品質を向上させるためのヒント](#)
- [Label Creator プロジェクトを印刷する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

印刷品質を向上させるためのヒント

フォトの印刷品質を向上させるには、次のヒントを参考にしてください。

- お使いのプリンターの設定で、高い印刷品質を選択します。印刷設定で高い品質を選択すると、印刷物の品質は向上しますが、印刷に時間がかかります。
- イメージをスキャンする場合は、イメージの解像度を可能な限り上げてスキャンします。最高の解像度を設定する方法については、スキャナーに付属のマニュアルを参照してください。
- デジタル カメラで最高のフォト品質を選択します。一度に保存できるフォトの枚数は減りますが、フォトの品質を高くすると、よりきれいに印刷できます。
- プリンターがサポートしていれば、カラー マッチングを使用します。画面の色は常に印刷された色と一致するわけではありません。カラー マッチング機能を使用すると、印刷される色が画面上の色により近づきます。
- フォト専用紙を使って印刷します。レーザー プリンター用紙では、フォトをきれいに印刷できません。より鮮やかな色で印刷するためには、カラー印刷またはフォト印刷に適した用紙を使用します。フォト専用紙は、パソコンショップや一部のカメラショップで購入できます。

注意: カラー プリンターの機種によっては、専用の用紙を使用しなければならない場合があります。プリンターの製造元による推奨事項をよくお読みください。

以下も参照してください:

- [印刷位置を調整する](#)
- [Label Creator プロジェクトを印刷する](#)
- [印刷の仕上がり状態をプレビューする](#)
- [テスト ページを印刷する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

ラベルをディスクに貼る

ラベルをディスクに貼るには、ラベラーの使用をお勧めします。使用方法については、製造元のマニュアルを参照してください。

ラベラーとは

ラベラーは、ディスクの表面にラベルをきれいに貼り付けるためのシンプルなツールです。ラベルやカバー用紙を販売している事務用品店やコンピューターの小売店で購入できます。

ラベルを貼る場合には、以下のことに注意してください。

- ラベルは、ディスクへの書き込みとテストが終了してから貼るようにします。
- ラベルは、ディスクをレコーダーに挿入したときに上になる面に貼ります。
- ラベルがディスクの中央にくるように貼ります。ラベルの中心と CD の中心が一致していないとメディアの重量バランスが狂い、ドライブの中でメディアが振動してノイズを発生する場合があります。ラベラーを使用すると、ラベル ディスクの中央にラベルを貼ることができます。
- 一度貼り付けたラベルは剥がさないようにしてください。ラベルを剥がすと、ディスクに記録されているデータが破壊されてしまう場合があります。

以下も参照してください：

- [カバーをディスク ケースに挿入する](#)
- [ディスク ラベル、またはカバー用紙に印刷する](#)
- [テスト ページを印刷する](#)
- [Label Creator プロジェクトを印刷する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。



カバーをディスク ケースに挿入する

カバーをディスク ケースに挿入するには、以下の手順で操作します。

フロント カバーまたはブックレットを挿入するには：

- 1 カバーを切り取り線に沿って切り取り、テキスト面が外側になるようにして半分に折ります。
- 2 ディスク ケースを開きます。
- 3 ディスク ケースの蓋にカバーを挿入します。

標準のディスク ケースにバック カバーを挿入するには：

- 1 バック カバーを切り取り線に沿って切り取ります。
- 2 ディスク ケースを開きます。
- 3 ディスクを留めるためのトレイ(ディスク ケースの底面に付いている)を取り外します。
- 4 バック カバーのテキストが外側になるようにして、バック カバーをディスク ケースの裏面に置きます。
- 5 ディスク ケースの背の部分にディスク タイトルのテキストがくるように折り曲げます。
- 6 トレイをディスク ケースに戻します。

以下も参照してください：

- [ラベルをディスクに貼る](#)
- [ディスク ラベル、またはカバー用紙に印刷する](#)
- [テスト ページを印刷する](#)
- [Label Creator プロジェクトを印刷する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

Label Creator

LightScribe® を使用してディスクにラベルを書き込む

LightScribe Direct Disc Labeling は、ディスクを裏返してから同じディスクドライブ(つまり、データの書き込みに使用したドライブ)に戻すことによって CD および DVD のラベルを書き込めるディスクラベリング技術です。

技術は、コンピューターの CD/DVD ドライブと、特殊なコーティングが施されたディスクおよびのディスク書き込みソフトウェアとを組み合わせることによって、正確できめが細く、かつ光沢のあるラベルを作成します。LightScribe を使えば、ディスクとラベルを一体化できます。お持ちの音楽ミックス CD、デジタルビデオやフォトアーカイブ、あるいはビジネス用のすべてのディスクに対して、魅力的なラベルを簡単に作成できます。

LightScribe を使用するには、以下のものがが必要です。

- LightScribe 対応の CD レコーダーまたは DVD レコーダー。
- LightScribe 対応のディスク。LightScribe 対応のディスクのラベル面には特殊なコーティングが施されており、そのコーティングがレコーダーのレーザーに反応してラベルイメージが作成されます。

LightScribe 対応のディスクがあることを確認してください。

LightScribe システムでは、LightScribe 対応のディスクを使用する必要があります。LightScribe は、ディスクの内周(ハブ)にあるコントロール部を使用して、メディアが LightScribe メディアであるかどうかを識別します。メディアが LightScribe メディアとして認識されない場合は、以下の手順に従ってください。

- 1 ディスクが LightScribe 対応のディスクであることを確認します。LightScribe メディアの内周部(ハブ)には、LightScribe のロゴがあります。また、コーティングが施されているラベル領域の内側および隣接部分には、目に見えるコントロール部もあります。
- 2 ドライブ内に挿入されているディスクの向き(裏表)が正しいことを確認します。ラベル面、つまり特殊コーティングの面が下向きになっていなければなりません。
- 3 ディスクの内周部(ハブ)をクリーニングします。糸くずのでない布を使用してハブの部分を拭き、コントロール部を覆っている汚れや染みを取り除きます。
- 4 上記の操作を行っても問題が解決されない場合は、別の LightScribe ディスクを使用してみてください。

LightScribe を使用してディスクにラベルを書き込むには:

- 1 Label Creator を使って、通常どおりにラベルを作成します。次のいずれかのスタイルを選択できます。
 - **クイック タイトル:**このスタイルを使用すると、タイトルとアーティスト(オーディオ ディスクの場合)または日付(データ ディスクの場合)だけが表示されます。ラベルをすばやく作成するには、このクイック タイトル テンプレートを使用します。
 - **クイック コンテンツ:**このスタイルを使用すると、ディスクのタイトルと内容(オーディオ ディスクの場合はトラック名、データ ディスクまたは MP3 ディスクの場合はファイル名)が表示されます。

または、通常の Label Creator スタイルを使用して、ラベルにその他の情報やグラフィックを含めることもできます。

注意: グラフィックや多くのテキストを含むスタイルを使用すると、ラベルの書き込み時間が長くなります。クイック タイトル スタイルやクイック コンテンツ スタイルを使用した場合は 2 ~ 3 分で書き込めますが、グラフィック ラベルの場合はさらに長い時間がかかることがあります。

- 2 Lightscribe 対応のレコーダーに、ラベル面を下にしてディスクを挿入します。
- 3 **印刷**ボタンをクリックするか、**ファイル > 印刷**を選択します。印刷ダイアログ ボックスが表示されます。

- 4 **プリンターの名前**ドロップダウン リストから、LightScribe 対応のレコーダーを選択します。
- 5 LightScribe には、ラベルを書き込む際に選択できる 3 つのコントラスト レベル オプションがあります。**印刷設定**で、**最高**、**標準**、または**ドラフト**のいずれかの品質を選択します。

ラベルの書き込み時間は、ドラフト、標準、最高の順に長くなります。

- **最高**:最も鮮明なコントラストを提供しますが、書き込み時間が最も長いオプションです。重要な商業取引、プレゼント、および個人用のコレクションに使用できます。
- **標準**:コントラストが良く、書き込み時間もそれほど長くない標準的なオプションです。このオプションは、プロフェッショナルなラベルを作成したい場合に使用します。
- **ドラフト**:最もコントラストが低いオプションですが、最短時間でラベルを書き込めます。このオプションは、日常的に使用する各種ラベルに使用できます。

- 6 ラベルを書き込むディスクの数を入力します。
- 7 **OK** をクリックして、ディスクへのラベル書き込み操作を開始します。

書き込みの進行状況ダイアログ ボックスが表示されます。

ラベルの書き込み時間は、ラベルに含まれている情報の量、ラベル上の情報配置、選択したコントラスト レベル、使用する LightScribe ディスク、およびドライブによって異なります。

LightScribe システムは、ラベル面の内周から外周に向かって同心円状にイメージを書き込みます。イメージ データを含んでいない同心円部分は「スキップ」されます。円周に沿った簡単なタイトル (クイック タイトルのラベルなど) は、イメージ データがディスクの内周付近にしかないため、すばやく書き込めます。ラベルの密度は選択したコントラスト レベルに基づいて調整され、コントラスト レベルが高いほど、より密度が濃くなります。

LightScribe ディスクそのものとドライブの互換性もラベルの書き込み時間に影響します。

いずれの場合にしても、書き込みシステムは背景で実行されるため、ラベルの書き込み中に他のタスクを実行できます。

以下も参照してください:

- [印刷の仕上がり状態をプレビューする](#)
- [ディスクに直接印刷する](#)
- [Label Creator プロジェクトを印刷する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ:お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.